

# 円の回転体

## 【教材の概要】

この教材では、円の回転体を表示します。

## 【期待される教育効果】

円が徐々に回転していく様子を操作・観察することを通じて、円周がどのように移動して回転体を構成していくのが学習できます。

## 【操作方法】

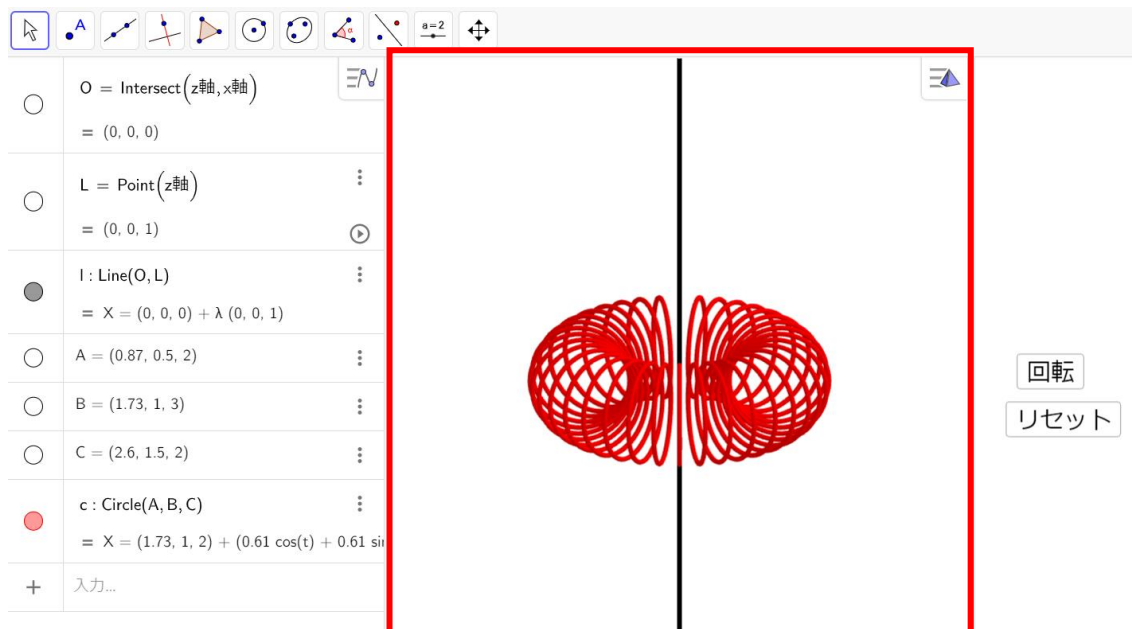
①赤枠内の回転をクリックすることで、円を回転させる。

The screenshot displays a geometry software interface. On the left is a list of objects with their mathematical definitions:

- $O = \text{Intersect}(z\text{軸}, x\text{軸}) = (0, 0, 0)$
- $L = \text{Point}(z\text{軸}) = (0, 0, 1)$
- $l : \text{Line}(O, L) = X = (0, 0, 0) + \lambda(0, 0, 1)$
- $A = (1, 0, 2)$
- $B = (2, 0, 3)$
- $C = (3, 0, 2)$
- $c : \text{Circle}(A, B, C) = X = (2, 0, 2) + (0.71 \cos(t) + 0.71 \sin(t))$
- + 入力...

The main workspace shows a red circle and a vertical black line. On the right side, there are two buttons: '回転' (Rotate) and 'リセット' (Reset). The '回転' button is highlighted with a red rectangular box.

②赤枠内の白い部分を左クリック（図形や線はクリックしない）しながらドラッグすることで、色々な方向から回転体を観察する。



③残像を消したい場合は、家のマークをクリックするか、マウスのホイールを上下に動かす。リセットを押すと、円が初期位置に戻る。

